

海に興味のある  
小・中学生募集



今治の「海」の担い手を  
育成する事業です。



このイベントは、  
海と日本PROJECTの  
一環で実施しています

今治「海」  
人材育成事業  
『海を知る』

# 海を 底に草をつくる プロジェクト

seaweed  
forest project

開催日

2023.5.20(土) 雨天決行  
荒天中止

開催時間

12:30~ 受付 13:00~17:00

集合場所

はーばりー1Fホール

参加料

無料 (事前登録が必要)

参加対象

今治市内小中学生30人  
(※保護者の方も一緒にご参加ください)

時間割

12:30 受付開始  
13:00 開会式  
バス移動  
14:30 花枝採取(今治市吉海町幸港)  
幸港清掃  
水中ドローンにてアマモ場観察  
17:00 解散予定

主催/特定非営利活動法人 今治シビックプライドセンター  
tel 080-3168-7681 mail : icpc@major.ocn.ne.jp  
後援/今治市・今治市教育委員会



事前予約が必要となります。  
予約用QRコードを読み取り  
必要事項を明記の上予約ください。



# 今治アマモプロジェクト 海の底に草原をつくらう

## アマモ(海藻)とは・・・

海草の一種で、波が穏やかな、太陽の光が届く浅い砂地の海辺に生えます。アマモがたくさん生えている場所を「アマモ場」と呼びます。「アマモ場」は小さな魚の隠れ処になったり、魚の産卵する場所になります。そのため、「海のゆりかご」とも呼ばれます。しかしアマモは姿を消してしまいました。

## アマモの役割

# 01

### 海をキレイにする

二酸化炭素を吸収・固定し、生き物に大切な酸素を作る。海底がキレイになり、赤潮が発生しにくくなる。

# 02

### 生き物を守り育てる

いろいろな生き物の住み家になり、隠れ場になる。魚などへの餌の提供。生き物の卵を産む場所になる。



## ブルーカーボン

アマモ場と干潟は、二酸化炭素を吸収・固定し、地球温暖化の影響を緩和すると期待されています。陸上の生物によって貯蔵される炭素を「グリーンカーボン」と呼ぶに対し、海洋の生物によって貯蔵される炭素は「ブルーカーボン」と呼ばれています。



### 今治アマモプロジェクトアドバイザー／水草研究会 藤原陽一郎

瀬戸内海の海洋漂着物の調査研究に携わる。海岸清掃や海の生き物観察指導にも参加。ビーチクリーンへの協力のほかに、自然科学をテーマに活動を継続。

また、淡水緑藻のシャジクモ科の調査では、県内のため池、水田環境、汽水環境を網羅的に調査し、「愛媛県で確認されたシャジクモ科のリスト」を執筆中。水草研究会、愛媛植物研究会に所属し、研究成果を発表しています。

## イベント参加の注意事項

- ・今治アマモプロジェクトは種取り（7月）種まき（11月）発表（3月）等を予定しています。なるべくすべての会に参加していただき、アマモの成長過程を見届けていただける方を募集します。
- ・損保ジャパン日本興亜のレクリエーション保険に加入しております。
- ・当日は、スタッフ、マスコミによるイベントの写真撮影、動画撮影が行われます。顔が写った写真が掲載されたり、イベントの様子が動画配信されますので、ご了承ください。